

若鮎だより

第73号

2026
春号

◇主な内容

病院理念と基本方針	1
巻頭あいさつ	2
新任者紹介	3
診療科紹介	5
職場紹介	6
トピックス①	7
トピックス②	8
県民健康講座	9
連携医療機関紹介	10
特集	11
新任研修医紹介、研修医日記	13
トピックス③	14
部署だより	15
お知らせ	17
トピックス④、編集後記	18

ご自由にお持ち帰りください。



日之影町中川集落のチューリップ（事務部 中島功太郎さん撮影）

 宮崎県立延岡病院
Miyazaki Prefectural NOBEOKA Hospital

〒882-0835 延岡市新小路2丁目1-10

TEL 0982-32-6181

FAX 0982-32-6759

URL: <https://www.nobeoka-kenbyo.jp/>



宮崎県立延岡病院

理念

患者さん本位の良質で安全な医療の提供

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、理解と納得に基づく安全で信頼される医療を行い、患者さんの立場に立った医療の提供に努めます。
2. 高度で先進的な医療に取り組み、地域の中核病院として質の高い医療の提供に努めます。
3. 二次・三次救急医療に取り組み、公立病院として地域住民が安心できる医療の確保に努めます。
4. 地域の医療機関との連携と地域社会に密着した保健医療活動を進め、開かれた病院として地域の保健・医療の向上に努めます。
5. 医療従事者として常に知識・技術を高め、質の高い医療の提供に努めます。

患者憲章

県立延岡病院は、病院の理念に則り、医療の中心は患者さんのためであることを深く認識し、一人一人の患者さんに次のような権利と責務があることを宣言します。

1. 良質な医療を平等に受ける権利

社会的地位、人種、信条等を問わず、安全に配慮した良質な医療を平等に受ける権利があります。

2. 知る権利

病気、検査、治療、予後等について、理解しやすい言葉などで納得できるまで、十分な説明を受ける権利があります。

3. 自己決定権

医療を受ける際、十分な説明を受けた上で受けるかどうかを自分で決定する権利があります。

4. 尊厳性への権利

どのような時でも人格を尊重され、尊厳をもって医療を受けることができます。

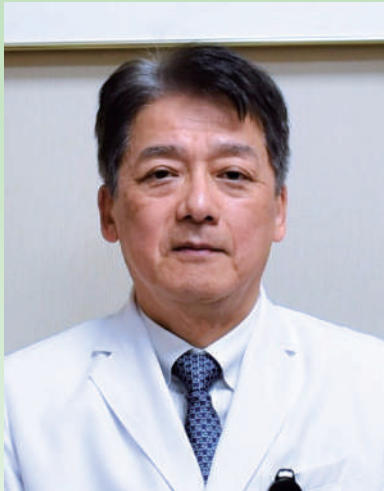
5. 個人情報やプライバシー保護の権利

病院関係者が知り得た全ての個人情報について、保護を受ける権利があります。

6. 責務

- (1) 以上の権利を守るため、医師及び医療従事者と力を合わせて医療に参加・協力する責任があります。
- (2) 院内の秩序と快適な療養環境を守るため、院内の諸規則を遵守する責任があります。

巻頭あいさつ



院長 やま ぐち てつ ろう 山口 哲 朗

平素より当院をご支援いただきありがとうございます。新年度に入り多くの新人スタッフが入職しました。

オリエンテーションにてスタッフ全員が「最後の砦」として当院の果たすべき役割について共有しました。

さて、皆さんは外来ホールにある壁画についてお気づきでしょうか。私はこの絵を見ると心が癒されます。作者は木城えほんの郷館長、黒木郁朝先生（延岡市出身）です。

当院建設時に先生の絵を元に大塚オーミ陶業により作成されました。かねてよりこの壁画について皆さんに詳しくお伝えしたいと思っていたところですが、院長就任を機に昨年、黒木先生を訪問させていただき話をお伺いしました。今回当院広報委員会取材班を派遣しインタビュー記事を掲載しましたのでご一読ください。

院内には他に多くの写真や絵画が飾られています。ぜひ足を止めてご覧になってはいかがでしょうか。質の高い医療の提供だけでなく快適な療養環境の整備にも尽力していきます。皆さんのご支援のほどよろしく申し上げます。

令和8年4月1日



看護部長 こ いずみ 小 泉 さなえ

日頃より県北地域の皆さんや各医療機関の職員の皆さんには、当院へのご支援やご協力をいただき感謝いたします。暖かな陽気に包まれた中で新年度が始まり、県立延岡病院看護部は新しい職員を迎えスタートいたしました。転勤による他病院からの異動者や新規採用者は新しい環境の中で懸命に頑張っております。中には初めてこの地域で生活し勤務する職員もおりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

近年、医療環境が日々変化する中、専門職である私たちには提供するチーム医療のさらなる充実が求められています。看護職員一人ひとりが自己研鑽し、地域の皆さんに寄り添える、春の日差しのような温かい看護が提供できるよう育成していきます。そして、これからも働きやすい職場づくりに取り組みつつ地域医療を支える一員として、職員とともに貢献できるよう努めてまいります。

新任者紹介

新しいスタッフを
ご紹介いたします。



歯科口腔外科 部長

ひらやま ぶんいち

平山 間一

(令和8年4月着任)

地域貢献できるよう頑張ります。

整形外科 医長

ますだ ひろし

増田 寛

(令和8年4月着任)

延岡・宮崎の医療に貢献できるように頑張りたいと思います。

脳神経外科 医長

とねがわ たけし

舎川 健史

(令和8年4月着任)

大学時代にお世話になった宮崎の地域医療に貢献できればと思います。よろしくをお願いします。

心臓血管外科 医長

さくらはら だいち

櫻原 大智

(令和8年4月着任)

県北の医療に少しでも貢献できるよう精一杯努めます。よろしくをお願いいたします。

産婦人科・周産期科 医長

やまだ なおし

山田 直史

(令和8年4月着任)

初めての県北での勤務ですが、皆さまのお役に立てるよう、精一杯頑張っています。

内科 副医長

たなか えり

田中 映璃

(令和8年4月着任)

研修医ぶりの延岡です。地域の医療のため頑張ります。

内科 副医長

やました ようだい

山下 遥大

(令和8年4月着任)

今年度よりお世話になります。腎臓内科の山下と申します。地元延岡の力になれるよう頑張ります。

内科 副医長

やまだ あきひろ

山田 晃寛

(令和8年4月着任)

熊本中央病院から異動となりました。延岡のため、不安なこともあります。頑張りたいと思います。

循環器内科 副医長

かね こ しょうぞう

金子 祥三

(令和8年4月着任)

いろんな技術を身につけて県北の医療に貢献できるように頑張ります。

皮膚科 副医長

くろき すすむ

黒木 進

(令和8年4月着任)

初めての延岡での勤務になりますが、県北の皮膚科医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくをお願いします。

泌尿器科 副医長

しらかわ たつや

白川 達也

(令和8年4月着任)

「相談して良かった」と思える医療を、地域の皆様に寄り添い、泌尿器の健康を全力でサポートします。

歯科口腔外科 副医長

つぼい ゆうき

坪井 裕紀

(令和8年4月着任)

丁寧で分かりやすい説明を心がけて、患者さん・ご家族にとって実りある治療ができるように努力します。

内科 医員

ふじい ひかる
藤井 光

(令和8年4月着任)

2026年度より赴任となりました。延岡が初めてですが、精一杯頑張りますので、よろしくをお願いします。

循環器内科 医員

ふるたに こうや
古谷 空也

(令和8年4月着任)

県立宮崎病院から来ました。研修医の時にもここで世話になりました。愛する妻と子と延岡のために頑張ります。

外科 医員

しきじ ゆうき
式地 優樹

(令和8年4月着任)

出身地の延岡で勤務することができ、大変嬉しく思います。地元のために精一杯頑張ります。

整形外科 医員

はまかわ こうすけ
濱川 晃輔

(令和8年4月着任)

初めての県北勤務で慣れなところもありますが、精一杯頑張ります。よろしくをお願いします。

産婦人科・周産期科 医員

やぐち あゆこ
谷口 愛友子

(令和8年4月着任)

研修医でお世話になった県立延岡病院に産婦人科医として戻ってきました。延岡に貢献できるよう精一杯努めます。

救命救急科 医員

とくなが けい
徳永 啓

(令和8年4月着任)

延岡市出身で、研修医以来の勤務になります。半年間と短い期間ですが、地域医療に貢献できるよう頑張ります。

救命救急科 医員

ひだか てっぺい
日高 哲平

(令和8年4月着任)

患者さん一人ひとりに寄り添い、救急医療を通して地域の皆さまのお力になれるよう努めて参ります。

総合診療科 医員

めら たいが
米良 大雅

(令和8年4月着任)

生まれ育った県北で、医療に携われることを嬉しく思います。丁寧な診療を心がけます。よろしくをお願いします。

総合診療科 医員

えとう ゆうこ
江藤 佑子

(令和8年4月着任)

専攻医1年目なので、まだまだこれからです。延岡でスタートを切れること、嬉しく思います。成長できるようがんばります。ご指導よろしくお願いたします。

地域医療科 医員

はしもと ゆういちろう
橋本 雄一郎

(令和8年4月着任)

地域医療に従事します。全身全霊で挑みますので皆さんよろしくお願いたします！

地域医療科 医員

さいとう ひろゆき
齋藤 裕之

(令和8年4月着任)

研修医の2年間は大変お世話になりました。今年度は高千穂病院内科に勤務しており、延岡・高千穂間の連携、医療に貢献できたらと思います。よろしくお願いたします。

看護部 副看護部長

しゅとう さわ
首藤 佐和

(令和8年4月着任)

2年ぶりに延岡病院に戻りました。皆さんの力を借りながら、地域に根ざした質の高い看護の提供と人材育成に努めていきたいと思ひます。よろしくお願いたします。

事務局長

わたなべ はる お
渡邊 陽生

(令和8年4月着任)

病院の「縁の下の力持ち」として、事務部職員一丸となって、頑張りますのでよろしくをお願いします。



診療科紹介

腎臓内科



当科は、医師2名で診療をおこなっています。おもな診療内容は、糸球体腎炎・腎不全・ネフローゼなどの腎疾患を中心とした診療の他に血液浄化療法をおこなっています。腎臓の病気は、腎臓固有の疾患以外にも、糖尿病、高血圧、膠原病などの全身疾患の一部分症としての腎障害があり、その範囲は多岐にわたります。腎機能が廃絶した腎不全患者さんに対しては、腹膜透析、血液透析の導入をおこなっています。その他、血液濾過療法や血漿交換療法、血漿吸着療法、血液吸着療法など、血液浄化を必要とするすべての疾患に対応しています。また、院内で発生した急性腎障害や電解質異常などのコンサルテーションを積極的に受けています。

外来診療は、火曜日(腎代替療法選択外来・腹膜透析外来)、水・金曜日(腎臓内科専門外来)、木曜日(腹膜透析外来)です。ビデオ映像や実際に機械を見ていただきながら治療法の情報提供をおこない、治療法を決めるサポートをさせていただきます。

今後も宮崎県北地域の皆様に安心して医療を受けていただけるよう努力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

小児科



当科は宮崎県北地域で、①入院が必要な小児急性疾患の受け入れ、②小児の慢性的な病気や難病の外来及び入院診療、③周産期母子センターでの日当直(産婦人科と折半)を担っています。小児科常勤医師は5名で、外来診療は定期受診、予約紹介、緊急紹介を分担協力し、入院診療は主治医制で対応しています。

毎朝外来で入院及び夜間受診小児のカンファレンスをおこない、金曜日の午後4階東病棟看護師とのカンファレンスをおこなっています。急性疾患は開業小児科施設、夜間急病センターからの紹介と、当院救急センター受診例が多く、休日夜間は24時間オンコール体制で対応しています。慢性疾患は神経、内分泌、循環器、消化器、アレルギー、腎、膠原病等の多岐の疾患に対応し、医療的ケア児(者)の診療もおこなっています。高度医療が必要な症例は、三次医療施設と連携し、救急搬送等をおこなっています。

救急科をはじめ各科の先生方、看護スタッフの皆様からも暖かい協力を得て、子どもたちの健やかな発育発達のために努力しています。

職場紹介

透析センター



透析センターでは、県北部地域の手術や各種検査目的で入院された透析患者さんや、心筋梗塞や骨折などで緊急入院された透析患者さんの透析治療に対応しています。また、急性腎不全や慢性腎不全の進行により新たに透析が必要となった患者さんの治療も担っています。さらに、腹膜透析外来や腎代替療法選択外来を通して在宅療法を支援するとともに、外来患者さんが十分に理解し納得したうえで治療法を選択できるよう意思決定支援にも取り組んでいます。急性期治療後は、県北部地域の透析施設とのネットワークを活かし、安心して透析治療を継続していただけるよう連携しています。腎臓内科医2名、看護師6名、臨床工学技士14名が専門性を活かして協力し、患者さんが安心して治療を受けられるよう安全な医療の提供に努めています。これからも患者さんの声に耳を傾け、安全で、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供できる体制づくりに取り組んでまいります。

臨床検査科



今日の医療における検査の役割は極めて重要であり、検査なしの医療はあり得ないといっても過言ではありません。その中で臨床検査は疾病の診断においてあらゆる分野で重要な役割を果たしています。

臨床検査科には医師1名、臨床検査技師29名が在籍しており、おもに患者さんから採取された血液・尿・喀痰・組織などを検査し、臓器の状態や治療の経過を調べる検体検査と、患者さんの身体から発生する微弱な電気信号や画像を基に解析する心電図・脳波・超音波検査などの生理機能検査に大別されプライバシー

に配慮しながら親切であたたかな対応を心がけています。

昨年12月から細菌検査室に質量分析装置が導入され、患者さんから分離された菌を迅速に報告し、感染症診断・治療に貢献しています。県北地域の命の砦である延岡病院を守るためこれからもさらに検査の充実を図っていくと共に、24時間体制で迅速かつ正確な検査を通じて患者さんの診療支援をおこないます。

大地震を想定した「災害対策訓練」を実施しました

日頃より当院の診療にご理解とご協力いただき、心より感謝申し上げます。

いつ起こるか分からない自然災害に対し、皆さんが少しでも安心して毎日を過ごせるよう、当院では令和8年3月6日に「災害対策訓練」を実施いたしました。

■なぜ訓練をおこなうのでしょうか？

現在、近い将来の発生が心配されている「南海トラフ巨大地震」。今回の訓練では、**マグニチュード (M) 6.9**の大きな揺れが発生したという想定のもと、職員約50名が参加しました。

大きな地震が起きた直後は、病院の中でも情報が混乱し、スタッフの数も限られます。そのような過酷な環境下でも、皆さんの命を救うための「判断」や「動き」を体に覚え込ませるために、当院では定期的な訓練を欠かしません。



■今回の訓練で確認したこと

病院全体の司令塔となる「災害対策本部」を立ち上げ、以下の項目を重点的に確認しました。

●情報の整理と的確な判断：

刻々と変わる被害状況を素早く集め、どの患者さんを優先的に治療するか、スタッフをどこに効率よく配置するかを判断する手順をシミュレーションしました。

●職員の安否確認と参集：

メール等を使った「安否確認システム」を使い、何名の職員が病院に駆けつけられるかを確認しました。

訓練の最後には、災害対策訓練検討委員会の金丸委員長を中心に、課題の洗い出しをおこないました。

来年度には、宮崎県で国（内閣府）主導の大規模な訓練も予定されています。今回の気づきを活かし、当院の備えをさらに強固なものにしていく予定です。

これからも、地域の皆さんと共に歩む病院として、万全の体制を整えてまいります。



県北地域初！手術支援ロボット 「ダ・ヴィンチ」を導入しました！

当院では、このたび県北地域で初となる手術支援ロボットを導入しました。手術支援ロボットは、医師がロボットを通して手術をおこなうための機器で、傷が小さく、出血や痛みを抑えられる手術が可能になります。これにより、入院期間の短縮や早期の社会復帰が期待できます。



◆手術支援ロボットってどんなもの？

手術支援ロボットはロボット本体と、医師が操作する操作卓（コンソール）で構成されています。医師は操作卓で手や指と同じ動きをおこない、その動きをロボットアームが正確に再現します。小さなカメラで手術部位を拡大して見ることができ、細かい操作がしやすくなります。



◆患者さんにどんな良いことがあるの？

○体への負担が少ない

患者さんのお腹や胸に小さな穴を開けて手術をおこなうため、従来よりも傷口が小さく、術後の痛みも抑えられます。体の負担が小さいため、術後の回復が早くなることが期待されます。

○高い精度での手術が可能に

ロボットのアームは人間の手の可動域よりも広く、従来よりも繊細な操作や広い視界での手術が可能になります。



◆安全性と取り組み

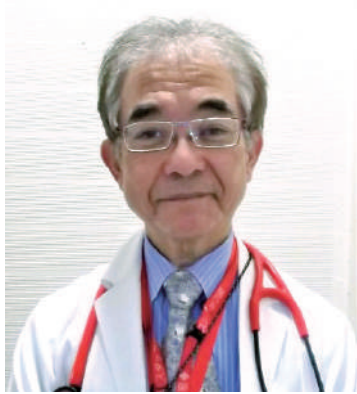
当院では、医師・看護師・臨床スタッフが専門のトレーニングを受け、安全管理を徹底して手術に臨みます。また、手術前には詳しい説明と検査をおこない、患者さん一人ひとりに合わせた最適な治療計画を立てます。

すべての病気で手術支援ロボットによる手術がおこなえるわけではなく、現在は泌尿器科で手術支援ロボットによる手術を実施しています。当院では今後も地域みなさんに安心・安全の医療を提供できるよう努めてまいります。



県民健康講座

抗がん剤を使わない血液がんの話し



とやま たかのり
血液内科 主任部長 外山 孝典
(県立延岡病院講堂 2026.2.18)

近年、血液がんの治療は大きく進歩し、従来のような強い抗がん剤を使わない新しい治療法が登場しています。今回の県民健康講座では、その代表的な治療として二重抗体療法であるエプコリタマブと、患者さん自身の免疫細胞を利用するCAR-T療法について紹介しました。

これまで血液がんの治療では、抗がん剤によってがん細胞を直接攻撃する方法が中心でした。しかし抗がん剤は、がん細胞だけでなく正常な細胞にも影響を及ぼすため、副作用が問題となることがあります。そこで近年注目されているのが、体が本来持っている免疫の力を利用してがんを攻撃する「免疫療法」です。

エプコリタマブは「二重抗体」と呼ばれる薬で、体内の免疫細胞であるT細胞とがん細胞を結びつける働きを持っています。これにより、患者さん自身の免疫細胞ががん細胞を見つけて攻撃できるようになります。この治療は皮下注射でおこなうことができ、再発した悪性リンパ腫などに対して新しい治療の選択肢となっています。

一方、CAR-T療法は患者さんのT細胞を体外に取り出し、がん細胞を攻撃できるように遺伝子を加えてから体内に戻す治療です。いわば「がんを攻撃する力を持った免疫細胞を作り出す治療」であり、一度の治療で長期の効果が得られる可能性があることから、大きな期待が寄せられています。

このような免疫療法では、免疫が強く働くことによって特有の副作用が起こることがあります。代表的なものに、発熱や血圧低下などを起こすサイトカイン放出症候群(CRS)や、意識障害やけいれんなどの神経症状を起こすICANSと呼ばれる副作用があります。しかし多くの場合は適切な治療によって改善することが知られており、医療機関ではこれらの副作用に注意しながら安全に治療がおこなわれています。

このように血液がんの治療は、「抗がん剤で直接がんを攻撃する時代」から、「免疫の力を利用してがんを治療する時代」へと大きく変化しています。すべての患者さんに適応できるわけではありませんが、これまで治療が難しかった患者さんにとって新たな希望となる治療法として期待されています。

連携医療機関紹介

しおはまクリニック

当院は塩浜町に昨年1月に開業したクリニックです。内科から外科、緩和医療まで幅広く対応する地域のかかりつけ医を目指して日々の診療をおこなっております。

当院の理念は「笑顔で地域に寄り添い、患者様一人一人にじっくり向き合う診療」です。風邪や生活習慣病などの一般内科はもちろん、苦痛の少ない胃カメラ検査、肝・胆・膵疾患の診断、切り傷や火傷などの外科処置まで専門性高く診療いたします。

また、発熱外来では空間的・時間的な分離による徹底した感染対策をおこない、地域の基幹病院とも緊密に連携。どなたでも安心して相談いただけるような体制を整えています。

「こんなこと相談してもいいのかな？」と迷うような悩みや疑問も、どうぞリラックスしてお聞かせください。予約は電話やWebでも可能ですが、予約なしでも受診可能です。地域の皆様の健やかな暮らしを支えるパートナーとして、スタッフ一同、笑顔で真摯にサポートいたします。



正面外観

住所：宮崎県延岡市塩浜町4-1717-68 TEL：0982-20-2101

医療法人洋承会 今給黎医院

昭和36年に開業し、現在は有床診療所（17床）として、医師2名体制で内科・循環器科の診療にあたっています。心筋梗塞などの冠動脈疾患や心不全の診断・初期診療に取り組み、高血圧・糖尿病・脂質異常症等の管理に注力しています。

当院では心臓エコーや冠動脈CT検査を当日におこなえる体制を整え、急性期疾患の迅速な診断に力を入れています。すぐ近くに日向インターができたことで救急搬送も大変スムーズになり、循環器内科・心臓血管外科をはじめとする県立延岡病院の先生方には、快く急患をお受けいただき深く感謝申し上げます。

また、長年この地で診療を続ける中、親子二代で心血管病を発症するケースを数多く経験しました。この経験から、患者さんの生活背景に応じた心疾患の「1次予防・2次予防」を何より大切に、日々の診療に注力しております。

今後も県立延岡病院をはじめとする連携機関や多職種と協力し、地域医療に貢献してまいります。よろしくお願い申し上げます。



スタッフ写真



正面外観

住所：宮崎県日向市大字財光寺2864-3 TEL：0982-54-2459

当院壁画「音」作者 黒木郁朝 先生にお話を伺いました

当院を訪れる方々が、足を止め見上げる壁画「音」。延岡市出身の画家・黒木郁朝先生が手がけたこの作品は、1997年の完成以来、患者さんの心に安らぎを与え続けてきました。この度、私たちは黒木先生が村長を務められる「木城えほんの郷」を訪ね、作品に込められた思いと、先生の温かいお人柄に触れる貴重な機会を得ました。

—作品に込められたメッセージについて教えてください。

作品の中で耳に手を添えて、人々や動物たち、野の草花たちもいっしょに「いのちの音」を聴いている。病院はたくさんの方がいろいろな思いを抱えて訪れる場所だから、地球上のすべての命が優しくあたたかく生きている様子を感じていただければうれしいです。

—当院に先生の作品が展示されることになった経緯を教えてください。

県立延岡病院の設計事務所に、私が若いころからの作品のコレクターがいて、私を候補に推薦してくれました。

その後、正式に設置が決まり「この病院の壁画は、あたたかな生命の詩を描き続ける先生の作品でなければならない」と頼まれて、オリジナルな作品を制作したのです。



—作品は、陶板壁画ですね。

陶板の職人さんとやる仕事は面白かったです。体育館のようなところに陶板を敷き詰めて、2階から出来栄を確認したものです。原画を忠実に再現するのはすごく難しいし、窮屈な仕事になりがちですから、職人さんには「忠実じゃなくてもいいよ。陶板壁画として楽しんでもらえば良いから」と伝えて、のびのびと仕事をしてもらいました。

—故郷・延岡という土地は先生の作品に影響を与えていますか？

延岡小学校時代のあそび場はもっぱら城山。城山の千人殺しの石垣の上に腰掛けて、夕日に染まった高千穂の峰や九州山地の山々の向こうに夕日が沈んでいくのを、よく眺めていたものです。創作の原点ともいえる。

—世界各地で展示をされてきた中で、特に印象に残る体験はありますか？

招かれて行ったニュージーランドのオークランド近郊にある「デブンポート」という町が印象に残っています。マングローブが海から湧き上がってくるように茂った入り江に、300年も経った美しい木造の2階建ての家がびっしりと立ち並んでいるようなところ。海や自然と共存して暮らしている住民に、「黒木さんの作品が、私たちの町の自然に対する思いを表現してくれている」と言ってもらえたのが、うれしかった。

—先生が村長を務めている「木城えほんの郷」について教えてください。

木城えほんの郷は、絵本を通して、子どもだけではなく大人も含めて交流が生まれる場所として、30年以上文化の発信に取り組んでいます。この郷は、生き物も植物も自然が豊かで、四季折々いろいろな表情を見せてくれる。蝶や鳥が通る道を整備したのだけれど、そこに蝶や鳥が集まってくるようになって、年々姿を変えていっておもしろい。



木城えほんの郷

—取材を終えて

黒木先生はとても気さくなお方で、絵に関する思い、延岡に関する思いなどをたくさん聞かせてくださいました。先生の芸術活動と木城えほんの郷でのご活躍は、今後も多くの人々に感動と希望を与え続けることと思います。取材を快諾いただき、あらためて御礼申し上げます。



病院を訪れた際には、ぜひ改めて「音」の前で立ち止まり、その青い世界から聴こえるやさしい音に耳を傾けてみてください。



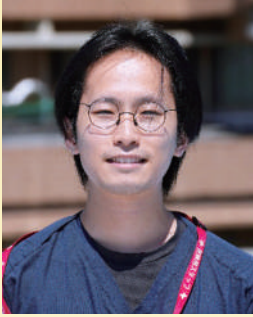
当院外来ホールにある壁画「音」

黒木 郁朝 (くろぎ いくとも)

1944年延岡市生まれ。
1979年イビサ・ビエンナーレに出品。1984年木版画集「時の紙」を出版。個展の開催や各種国際展に多数出品している。1996年に開館した「木城えほんの郷」の村長を開館時より務め、絵本文化と自然体験の大切さを発信し続けている。

令和8年4月

県立延岡病院新任研修医紹介



くろぎ あきと
黒木 陽斗

特技・趣味
ギター

メッセージ

高千穂町出身です。県北地域に貢献できる医師となれるよう、研修医として日々精進したいと思います。



ささやま だいすけ
笹山 大輔

特技・趣味
野球観戦
(横浜DeNAベイスターズ)

メッセージ

生まれも育ちも宮崎市です。延岡の綺麗な街並みや自然の中で2年間暮らすのがとても楽しみです。



とくだ あみ
徳田 安美

特技・趣味
パン屋巡り

メッセージ

日向市出身です。地元である県北の医療に従事できることをとても嬉しく思います。よろしくお願ひします！



まつもと りょうや
松元 亮弥

特技・趣味
バスケットボール

メッセージ

宮崎大学出身の松元亮弥です。延岡は人が優しくご飯も美味しいので、すごく好きな地域です。研修頑張ります！

研修医日記

岩本 稔里

こんにちは。若鮎だよりが発行される4月には2年次研修医の岩本稔里と申します。社会人1年目があつという間に過ぎようとしています。まだ実感が湧きません。未熟なところばかりで反省と学びの毎日を送っていますが、昨年の4月を思い返すと大きく成長できた1年でした。右も左も分からない状況で始まり、研修医の先輩・指導医・看護師・その他の多職種・患者さんと多くの方々のご指導とご協力でここまでやってきました。本誌面をお借りして改めて御礼申し上げます。今後も日々研鑽を重ねて参りますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

直近の話では、1個上の先輩方が研修終了しそれぞれの新天地へ向かわれる前に親睦会をおこないました。正式な送別会は別日で開催予定ですが、このメンバーでご飯を食べられるのもあと数回と思うととても名残惜しいです。先輩に連れて行ってもらった延岡の美味しいグルメは、4月から入ってくる新しい研修医に引き継いでいきたいです。また、おすすめのお店がございましたら皆様ぜひご教示いただけますと幸いです。研修医一同、心よりお待ちしております。



研修医縫合コンテストを開催しました！

令和8年2月24日(火)、研修医が縫合の腕前を競い合う「縫合コンテスト2026」を開催しました！

縫合コンテストは2012年から開催している当院の恒例行事で、今回は10名の研修医が参加しました。

研修医達は実際の手術に即した器具等を用いて、皮膚の縫合やドレーン固定の腕前を披露し、医師や看護師による審査の結果、当院基幹型1年次研修医の原口美咲先生が見事優勝を果たしました。1年生ながら美しい運針、今後のさらなる活躍に期待です！

コンテストにあたっては、泌尿器科と臨床研修センターの先輩医師から熱心に縫合の技術・知識をご指導いただきました。研修医の縫合技能は大きくレベルアップし、その完成度を審査員の医師・看護師も高く評価していました。



皮膚縫合



ドレーン固定



～優勝～

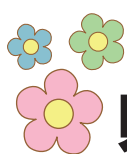
基幹型1年次：原口 美咲 (中)

～準優勝～

基幹型2年次：安藤 菜々子 (左)

～3位～

基幹型2年次：井上 聡士 (右)



令和8年度



県民健康講座開催のお知らせ

超高齢者社会を迎えるにあたり、予防医学の重要性が高まっています。「地域社会に貢献する病院」として、地域の方々に、予防医学についてのご理解を深めていただくために、次のとおり「県民健康講座」を開催します。

多数の方々にご参加していただきますようお願いいたします。

●開催日及び担当診療科

	開催日	担当診療科
第1回	4月15日	外科
第2回	6月17日	栄養管理科
第3回	8月19日	皮膚科
第4回	10月21日	呼吸器内科
第5回	12月16日	歯科口腔外科
第6回	2月17日	耳鼻咽喉科

●開催時間

午後6時～午後7時

●開催場所

県立延岡病院2階講堂

●テーマ

講座開催日に、次回の講師及びテーマをお知らせします。
また、ポスター等でもお知らせします。

●その他

参加は、事前申し込みが必要です。
駐車場に限りがあります。できる限り公共交通機関をご利用ください。
県民健康講座は、健康長寿ポイント対象講座です。



県立延岡病院 患者支援センター

栄養管理科だより



「ナトカリ(Na/K)比」を下げ 高血圧を予防しよう！



■「ナトカリ (Na/K) 比」ってなに？

「ナト (Na)」はナトリウムのことで、食塩の主成分です。「カリ (K)」はカリウムのことで、野菜・果物などに多く含まれます。食塩の取り過ぎとカリウムの不足は、血圧を上昇させ、心臓病や脳卒中などを引き起こします。尿検査で尿中の「ナト」と「カリ」の濃度のバランスを把握できます。

日本人はナトカリ比が高い傾向にありますが、理想は**2未満**です。

$$\text{ナトカリ比} = \frac{\text{ナトリウム (塩分)}}{\text{カリウム (野菜・果物)}}$$

Q. どうやって測定できるの？

→当院では治療上必要な方に検査を実施しています

■ナトリウムを減らしてカリウムを増やす意識で、無理なく減塩！

～食塩 (ナトリウム) を減らす工夫～

漬物や梅干しは控えて

量を減らし、食べる時は1日1回までにします。甘酢漬けなど食塩が少ないものに置き換えるのもオススメです。



加工品は控えて

ウインナーや干物、レトルト食品などの加工品には目に見えない食塩が多く含まれています。取り過ぎに注意します。



汁物は具沢山にして1日1杯まで

汁物には食塩が多く含まれています。野菜を入れて具沢山にすると、汁の量を減らせてカリウムも摂取できます。



酸味や香辛料を活用する

味が足りないときは、調味料ではなく酢やこしょう、カレー粉などを足すと風味がUPし、薄味でも美味しく食べられます。



～カリウムを増やす工夫～ ※腎臓病といわれている方は医師に相談してください

野菜を1日プラス100g！

生野菜なら両手1杯分、加熱した野菜なら片手1杯分が目安です。毎日の食事に野菜を一皿プラスしましょう。



外食や中食の際は、野菜を積極的に摂れる「ベジ活応援店」がオススメ
 県北のベジ活応援店はこちら→



間食に果物を取り入れて

果物は1日200gが目安です。毎日の間食に取り入れましょう。果物はジュースや加工食品よりも生のまま食べるのがオススメです。
 ※糖尿病がある場合は医師の指示に従ってください



キウイ1個と りんご半分 又は バナナ1本と いちご5個 など

海藻、豆類、ナッツ、芋類も優れたカリウム増強食品です。積極的に毎日の食事に取り入れましょう。

お知らせ

当院能勢産業医にペイシェントハラスメント(ペイハラ)について聞きました

恐ろしいペイハラの実態

感染対策上入院患者さんの面会制限をさせていただいた時のこと。

面会できない事に対し、毎日何度も数十分から1時間ほど直接来棟や電話で苦情、暴言を吐かれる患者さんの家族がおられました。

看護師がその方の対応に時間をとられ、他の患者さんの看護ができません。病棟ナースコール鳴りっぱなし。担当看護師と医師がメンタルダウンに追い込まれ、病棟運営が麻痺しました。

ペイハラって何？

患者さんやその家族が、病院職員に暴言を吐いたり、暴力を振るうことをペイシェントハラスメント(ペイハラ)といいます。

ペイハラを放置するとどうなるの？

病院職員も人間です。暴言暴力をうければ傷つきます。メンタルダウンの末、休職や離職に追い込まれた職員もいます。

さらに対応に時間をとられるため、他の患者さんの医療も手薄になります。

また医療が消極的になります。苦情が多い患者さんに対しては「何言われるかわからないから最新の治療よりも、とにかく無難な治療だけをやろう」という心理が医療者に働くといわれています。

従ってペイハラは病院職員、患者さん、他の患者さんの3者への脅威。逆にペイハラ対策は、病院職員を守るのみならず、患者さんや他患者さんを守る事なのです。

じゃあペイハラを無くすにはどうすればいいの？

ペイハラは病院職員側に非がある場合もあります(長時間待たせてしまった、説明が不十分だった、職員間の連携ミスがあった等)

一方患者さん側に非がある場合もあります(医療への過度の期待、怒りっぽい性格、病状による精神的不安定、いろいろ等)

ペイハラを無くすためには、病院職員、患者さんが対等の立場で、互いの立場を尊重する事が大切です。

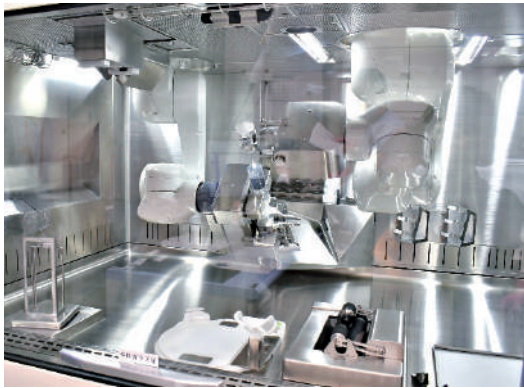
ペイハラが発生しないよう私たち病院職員はこれからも常に努力します。患者さん、ご家族におかれましては下記行為を絶対におこなわないようご協力をお願いします。

ペイハラ行為の例

1. 職員や他の患者への強要・脅迫行為
2. 職員や他の患者へのわいせつ行為
3. 暴力・暴言・大声、その他の威嚇行為
4. 建物・設備・機器などを汚損する行為
5. 危険物を持ち込む行為
6. 許可のない撮影・録音、SNSへの投稿
7. 敷地内における飲酒・喫煙
8. その他病院が迷惑と判断する行為



抗がん薬混合調製ロボット「ケモロ」が導入されました!



がん治療には、手術、放射線療法、薬物療法があり、単独若しくは組み合わせて治療がおこなわれております。このうち薬物療法においては、科学技術の進歩により次々と新たな抗がん薬が開発され、高い治療効果とともに、その役割が大きくなってきております。

当院においても多くの抗がん薬が使用されており、薬剤師による溶解・希釈作業がおこなわれておりますが、令和7年11月25日、当院薬剤部に抗がん薬混合調製ロボットが導入されました。このロボットは薬剤師がおこなっている作業の一部をおこなうことで、業務負担を軽減するとともに、医師の指示に対して正確に調製作業をおこなうことで安心・安全な薬物治療が期待されております。

宮崎県内で抗がん薬混合調製ロボットが導入されたのは当院が初めてであり、九州内でも3番目と先進的な導入です。

治療を受ける患者さんを支え、また、最新の薬物治療に対応できるよう努めていきたいと考えております。



編集後記

〈編集長：呼吸器外科 主任部長 能勢直弘〉

30年ほど前、当時出始めた内視鏡手術について患者さんに説明したときの本当の話。能勢：「切らずに穴をあけて、テレビを見ながら手術します」と説明。

患者さん：「そんな手術は絶対に受けん！テレビみながら、切りもせずに手術するなんてとんでもない。手抜きにも程がある！どうしても観たい番組があるなら録画して手術終わってから観ればいいじゃないか！」

と怒られ、能勢自分の説明力の無さに自信消失。

最近母に

能勢：「延岡病院に手術ロボットが入ったよ」

と話したところ、

母：「私だったらロボットの手術なんて受けたくない。やっぱり手術は人間の先生にやって欲しい」

との返事。

能勢：「……」

母にロボット手術を説明する自信が無かったので「そうだね」と答えて会話終了としてしまいました。

お母さんごめんなさい。

図：もしかしたらロボット手術をこう思っている人いるかも



ロボット手術の正しい理解は8ページを読もう！

宮崎県立延岡病院 外来診療・病棟案内

● 外来診療については、かかりつけ医の紹介状と病院・診療所からの事前予約が必要です。 令和8年4月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	特殊診察等
内科	呼吸器	(新患) 味志・清水 (再診) 藤井	是枝 山田(晃)	- 山口	藤井 是枝	山田(晃) 味志	気管支鏡検査……………水・金(午後) 腹膜透析外来……………火・木 上部消化管内視鏡……………火・水・木(午前) 下部消化管内視鏡……………火・木(午後) 腎内手術……………火(午後)
	血液	外山	外山	外山	外山	外山(再診)	
	消化器	(新患) 小川・田中 (再診) 市成	-	-	-	市成・田中 小川	
	腎臓	-	-	西園	-	山下(遥)	
呼吸器外科	能勢(再診)	能勢(新患) 黒木(将) 河野 大園 (第2・第4コンサル)	能勢(新患) 黒木(将) 河野(第2・第4) 久富木(第1・第3) 大園(第1・3・5)	能勢(新患)	能勢(新患)	-	手術…月、火(第4)、木(第1・第3・第5)、金 気管支鏡検査……………水・金(午後)
外科・消化器外科	土居 石躍	土居 本田	-	北村 本田	石躍	-	-
乳腺外科	-	-	-	落合	-	-	非常勤医師(県立宮崎病院 乳腺外科専門医)
心臓血管センター	心臓血管外科	-	-	西村	-	西村	手術……………月、火、木
	循環器内科	森 金子 (不整脈外来)	黒木(-)	伊藤 (不整脈外来)	山本(展)	村田	手術・検査……………月～金 心臓カテーテル……………月～金(9時30分～) ペースメーカー外来……………月・水・金(午後)
整形外科	濱川	栗原 鮫島 増田 濱川	-	-	栗原 小園 増田 川越 鮫島	-	手術……………月、水、金 こども療育センター外来(脳神経外科にて診察) ……………金(第3)
	小園	-	-	-	-	-	-
	川越	-	-	-	-	-	-
	相川	-	-	-	-	-	-
歯科口腔外科	-	平山 坪井 相川	平山 坪井 相川	平山 坪井 相川	平山 坪井 相川	-	手術……………月、木(午後)
産婦人科 周産期科	山内 都築	都築 (午後)	山田(直) 山内(午前) 安永(午後)	安永 (午後)	第2・第4 安永 山内(午前) 山田(直)(午後)	-	手術……………火、木 宮崎大学非常勤医師……………金(第1・第3・第5) ※都築D r. 診察……………火(午後) ※安永D r. 診察……………木(午後)
耳鼻咽喉科	山本(章)	山本(章)	-	山本(章)	山本(章)	-	手術……………水 休診日……………金(第1・第3) 難聴外来……………月 嚥下外来(院内コンサルのみ)……………火・金(午後)
小児科	二見	海老原	保田	岩井	佛淵	佛淵	乳児検診……………火・木(午後) フォローアップ外来 シナジス・バイフォータス
	保田	二見	岩井	佛淵	海老原	-	-
脳神経センター	脳神経外	舎川 徳田	-	西川 徳田	-	舎川 西川	手術……………火、木 血管造影……………月・水(午後)
皮膚科	後田 黒木	後田 黒木	後田 黒木	-	後田 黒木	-	手術……………木 休診日……………木
泌尿器科	山下	山下	-	-	山下	鬼塚/永井	手術……………水、木(第2・第4午前のみ)、金
	鬼塚	鬼塚	-	-	鬼塚		
	永井	永井	-	-	永井		
	白川	白川	-	-	白川		
総合診療科	-	石坂 江藤・米良	江藤 稗田	稗田 江藤	米良 石坂	-	-

※緊急以外の新患の受付は、午前11時00分までです。
※精神科・脳神経内科は現在休診となっております。

病棟フロア

	西側	東側
7階	リハビリテーションセンター	呼吸器センター(呼吸器内科、呼吸器外科)、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
6階	整形外科	消化器センター(消化器内科、消化器外科)、外科、泌尿器科
5階	心臓血管センター(循環器内科、心臓血管外科)、腎臓内科、人工透析室	血液内科
4階	女性病棟(産婦人科、内科、乳腺外科)、循環器内科	小児病棟、周産期センター(NICU・GCU)、消化器内科、循環器内科、皮膚科、外科
3階	集中治療センター(ICU) HCU、手術センター	脳神経センター(脳神経外科、神経内科)、救命救急科、総合診療科

★院内セキュリティ強化について★ (お知らせとお願い)

不審者等による院内への侵入を防止するため、夜間(18時～翌朝8時)や土日祝日(年末年始を含む終日)においては、院内への入口を南側救命救急センター横の夜間・時間外入口(警備員室前)1箇所のみとさせていただきます。



健康増進法第25条の定めにより、受動喫煙防止のため、敷地内での喫煙を禁止します。

広報委員会からの
お知らせ

広報誌へのご意見・お問い合わせにつきましては院内のご意見箱、
FAX0982-32-6759 または <https://www.nobeoka-kenbyo.jp/> まで!